



このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに
紹介します。

ウエズレーの国

小学生から
(低学年)

ある男の子が自分の世界を自分の
手で作りあげていく物語。人とは違う
ことをするために自分の頭で考える。
自分で作るお宝が
つたわります。

夏休みの宿題、じゅりけんやうも楽しく
たのむかな？

『ウエズレーの国』
作/ポール・フライシュマン
絵/ケビン・ホークス
あすなろ書房

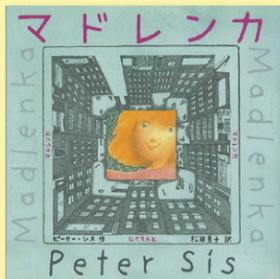


ウエズレーは、あるときつぜんひらめいた。自分だけの作物を育て、自分だけの服を作り、遊びを考え出し、文字や数の数え方まで発明するんだ！はじめは遠くからながめているだけだった近所の子も、しだにおもしろそうだと気がつき始めて……。仲間はずれにされていた少年が、夏休みの自由研究に「自分だけの文明」をつくりだすという壮大な物語。

マドレンカ

6才くらいから！

ちいさな女の子が世界のいろいろな国から来た
お宝をばらばらにちいさな箱に入れてお宝を
絵がとて うつく、外国の文化が
見えわくわくします。世界にはいろいろな国の人や
いろいろな文化の人がいます。
佐賀からちいさなぼうけん？ いろいろな国に
行ってみたいかな？
ドイツのイツツスモールワールド(小さな世界)
の気分になれるかな？



『マドレンカ』
作/ピーター・シス
BL出版

マドレンカは、ニューヨークの街角にすむ女の子。ある日、歯がぐらぐらすることに気がついたマドレンカは、ともだちみんなに知らせにいきます。「わたしは、もうおとな」……フランス人のパン屋さんも、インド人の雑貨屋さん、みんなマドレンカのおともだち。国際色豊かなニューヨークの楽しさが伝わってきます。

ぼくがげんきにしている

5才くらいから！

ちいさなとらとちいさなくまのおはなし。
びりきりにたつちいさなとらとちいさな
くまがげんきにしているおはなし。
たくまのやさしいどうぶつたちと
ちいさなくまのつくりおきのおはなし。



『ぼくがげんきにしている』
作・絵/ヤノシュ
徳間書店

小さなとらがたおれてしまい、ともだちのくまは、びっくり。いっしょうけんめい看病するのですが、小さなとらは、病気のせいかな、ちょっぴりわがままです。おまけになかなかよならず、とうとう動物病院に入ること…。とらはよくなるのでしょうか？ ドイツで人気のかわいい絵本。

小林副知事ってどんな人？

2019年6月から、女性としては初めて佐賀県の副知事を務めています。大学卒業後に文部省(現在の文部科学省)に入り、世界文化遺産を担当する部署や、パリで国連教育科学文化機関(ユネスコ)日本政府代表部の一員として働くなど、文化に関わる仕事に携わってきました。小学校の図書館で借りた海外文学の本に夢中になるなど、子どもの頃から読書にも親しんできました。



佐賀県立図書館「こころざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています！